

学位論文審査申請の手引

甲（博士課程修了の場合）

信州大学大学院総合医理工学研究科

医学系専攻医学分野

生命医工学委員会4年制コース

《 目 次 》

1. 申請資格	2
2. 学位論文について	3
3. 申請手続	4
4. 学位論文の審査手順	5

(各様式)

学位論文審査申請書	別紙様式第1号	6
履歴書	別紙様式第3号	7
論文目録	別紙様式第4号	8
学位論文の要旨	別紙様式第5号	9
同意書	別紙様式第7号	10
証明書	別紙様式第8号	11
学位論文における共著者の役割	別紙様式第9号	12
学位論文審査申請票 (甲)		13

1. 申請資格

次に該当する場合は、指導教授を経て総合医理工学研究科長に学位論文を提出することができる。

(イ) 本学大学院総合医理工学研究科第4学年に在学中で、修了に必要な単位数以上を修得した者。

ただし、在学期間の特例適用基準により学位申請する場合については、別に定める。(下記参照)

(ロ) 本学大学院総合医理工学研究科に4年以上在学し、修了に必要な単位数以上を修得して退学した者。

ただし、退学後1年以内に学位論文審査を全て終了するものとする。

在学期間の特例適用基準による学位の申請について

信州大学大学院学則第41条ただし書き「ただし、在学期間に関しては、当該研究科が優れた研究業績を上げたと認める者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。」に規定する在学期間の特例については、下記の条件を満たす者について適用する。

- 1 修了に必要な32単位以上を修得し、3年以上在学した者又は在学見込みの者。
- 2 入試区分が一般入試の者であること又は本学医学部の早期参加複数コースプログラム(eMED)を履修した者であること。
- 3 一流欧文雑誌に掲載又は受理(掲載許可)された、学位論文1編が在学中に作成され、申請者が筆頭著者である場合に適用する。なお、一流欧文雑誌とは、原則として Science Citation Index(SCI)の分野別ランキングの上位25%以上に位置するものとする。ただし、分野別ランキング上位25%未満でもインパクトファクター3.0以上ならば考慮する。
- 4 指導教授の推薦があること。

審査は、医学系専攻医学分野大学院委員会及び生命医工学専攻4年制コース大学院委員会における書類審査のほか必要に応じて個別審査を行う。

2. 学位論文について

《内規》

・学位論文は原則として、学位論文申請者の英文原著論文であり、印刷公表されたものであること。

(ただし、印刷公表前のものであっても、公表機関の掲載証明書等がある場合は可)

・学位論文申請者が、筆頭著者あるいは筆頭著者相当であること。

ただし、共著論文の場合は、研究および論文作成の中心的役割を果たしたことが主指導教授により証明され、共著者により同意されたものでなければならない。

・学位論文を掲載する雑誌としては、以下のものを認める。

(1) IF (Impact Factor) 0.3 以上の国際的雑誌

*IF については、原則としてアクセプト時の数値とする。

(2) 信州医学雑誌 (ただし英語論文に限る。)

(3) その他、研究科委員会が認めた雑誌

その他に 参考論文 (印刷公表されたもの。) があるときは、これを提出する。

〈以下のものは論文としては認められないので注意すること〉

(イ) 新聞記事，教育に関する記事，人物紹介，書評，随筆等に所属するもの。

(ロ) 抄録 (邦文，欧文を問わない。論文形式をとっていても学会発表に関するものも抄録と見なす。)

(ハ) セミナー，シンポジウム，その他講演会のテキストないし記録等。

(ニ) 業務報告書 (大学，文部科学省，厚生労働省等への研究報告等)

(ホ) 座談会記事

(ヘ) 学会記

(ト) 質疑応答 (Q and A, 今日の治療指針，問題集の解説等)

(チ) 著者表示が団体名で個人の著作権が認められないもの。

(リ) 学術雑誌とは認められないもの (一般雑誌等の商業紙) に発表したもの。

3. 申請手続

[学位論文審査申請に要する書類] 【一次審査時】

- ① 学位論文審査申請書 (別紙様式第1号)
- ② 履歴書 (別紙様式第3号)
- ③ 論文目録 (別紙様式第4号)
- ④ 学位論文の要旨 (別紙様式第5号)
- ⑤ 学位論文
- ⑥ 参考論文 } 各4部
- ⑦ 同意書 (別紙様式第7号)
- ⑧ 証明書 (別紙様式第8号)
- ⑨ 学位論文における共著者の役割 (別紙様式第9号) 【共著者が11名以上の場合に提出】
- ⑩ 学位論文審査申請票 (甲) 【メール添付で提出】
- ⑪ 学位論文の掲載が国際的雑誌の場合、アクセプト時(年)のIFが0.3以上であることがわかる書類 (JCRのサイトを印刷したもの)
- ⑫ 印刷公表前 (in press) の場合、公表機関の掲載証明書等

上記のほかに

- ②, ③, ④, ⑨の順番で、両面、左上ホチキス止めしたものを 8部

【二次審査時】

- ① 論文の内容の要旨 2部
- ② 論文審査の結果の要旨 2部
- ③ 最終試験の結果の要旨 2部
- ④ 学位論文 8部 (両面、左上ホチキス止め) 《参考論文は不要》
- ⑤ 学位論文のデータ (印刷物と同内容のPDFデータ)
★データの送付先：医学部大学院係 mdaigak@shinshu-u.ac.jp

[論文目録・学位論文の要旨での作成上の注意]

- 題目に日本語訳を括弧書で付すこと。
- 「学位論文の要旨」は2,000字程度とする。

[その他注意事項]

- IFはJournal Citation Reports (JCR) で確認すること。非公式な数値の場合は、条件を満たさないため注意すること。
- 学位論文中の誤字等の訂正は、直接冊子上に行わず、正誤表を作成して添付すること。
- 「在学期間の特例適用基準」により申請する場合は、Science Citation Index(SCI)の分野別ランキングの上位25%以上であることが証明されるものを添付すること。

5. 学位論文の審査手順

学位論文審査申請に要する書類【一次審査用】の事前確認

提出先：医学部大学院係



学位論文審査申請に要する書類【一次審査用】の提出

提出先：医学部大学院係



大学院委員会審査



各教授が審査書類を事前に閲覧



大学院（医学）合同委員会【一次審査】

学位論文の受理・審査委員（主査1名，副査3名）の承認



学長あて上申，学長から論文審査の付託
審査委員へ学位論文等配付《大学院係》



「学位論文審査委員会開催届」を大学院係へ提出《主査》
審査委員会開催通知（1週間前にオールメール）《大学院係》



主査・副査による審査委員会開催



学位論文審査申請に要する書類【二次審査用】の提出

提出先：医学部大学院係



各教授が審査書類を事前に閲覧



大学院（医学）合同委員会【二次審査】

* 主査が審査結果を報告

* 申請者は医学部にて待機



生命医工学委員会 《生命医工学専攻所属者のみ》



学長あて審査の議決報告



学位授与

* 学位記授与式は，10月上旬および3月下旬に実施

学位論文審査申請書

(元号) 年 月 日

信州大学長

○ ○ ○ ○ 殿

平成 年度入学

信州大学大学院総合医理工学研究科

専攻

分野

申請者

印

このたび、信州大学学位規程第5条第1項の規定により、博士（医学）の学位を受けたいので学位論文に必要書類を添え提出いたしますから、御審査くださるよう申請いたします。

記

履 歴 書 通

論 文 目 録 通

学 位 論 文 通

学位論文の要旨 通

参 考 論 文 通

履 歴 書

報 告 番 号	甲 第 号			
(ふりがな) 氏 名		性 別		
生 年 月 日				
本 籍				
現 住 所	〒 電話 () - -			
最 終 学 歴				
平成	年	月	日	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成	年	月	日	同上卒業
平成	年	月	日	信州大学大学院総合医理工学研究科 (専攻 分野 教室) に 入学, 〇〇〇〇教授の指導を受ける
平成	年	月	日	同上修了見込み (又は単位修得満期退学)
研 究 歴				
平成	年	月	日	信州大学大学院総合医理工学研究科 (専攻 分野 教室) に 入学, 〇〇〇〇教授の指導を受ける
平成	年	月	日	同上修了見込み (又は単位修得満期退学)
職 歴				
平成	年	月	日	医員 (研修医) 信州大学医学部附属病院に採用 (科)
平成	年	月	日	同上退職
平成	年	月	日	〇〇病院に採用
平成	年	月	日	同上退職
平成	年	月	日	医員 (信州大学医学部附属病院) に採用 (科) 現在に至る

論 文 目 録

信 州 大 学

報 告 番 号	甲 第 号	氏 名	
学 位 論 文			
著 者 名 (共著者がいる場合は、明記すること。(日本人は和名で表記))			
題 目 (和訳を括弧書きで併記すること。)			
(元号) 年 月 日発行(予定) ○○誌 第 卷 第 号 第 頁～第 頁 ○○誌 (in press) ←印刷公表前の場合、公表機関の掲載証明書等を添付すること。			
参 考 論 文			
著 者 名 (共著者がいる場合は、明記すること。(日本人は和名で表記))			
題 目 (題目が外国語の場合は、和訳を括弧書きで併記すること。)			
(元号) 年 月 日発行(予定) ○○誌 第 卷 第 号 第 頁～第 頁			
<ul style="list-style-type: none"> ・印刷公表されたもの。(英文か邦文は不問) ・学位論文の内容と関連があるもの。 ・論文申請者が共著者であること。(筆頭者である必要はない。) 			

学位論文の要旨

専攻 分野 学	氏 名	
<p>題 目</p> <p>(和訳を括弧書きで併記すること。)</p>		
<p>要 旨</p> <p>*文字数は、2,000字程度とする。</p> <p>*外国人留学生に限り英文での作成を可とする。</p> <p>研究指導者 信州大学医学部教授 研究場所 信州大学医学部 教室</p>		

同 意 書

(元号) 年 月 日

大学院総合医理工学研究科長

○ ○ ○ ○ 殿

論文提出者氏名 _____ 印
共 著 者 氏 名 _____ 印

論文題目

「

」

上記の論文を _____氏が信州大学博士（医学）の学位申請の
主論文として提出することに異議ありません。

(論文は、1回限り学位請求論文とし、共著者が再度使用することはできない。)

別紙様式 8 号

証 明 書

(元号) 年 月 日

大学院総合医理工学研究科長

○ ○ ○ ○ 殿

指導教員 _____ 印

論文題目

「

」

上記の論文を _____ 氏が信州大学博士（医学）の学位申請の
主論文として提出することに異議ありません。

共著者が11名以上の
場合に提出すること。

学位論文における共著者の役割

共著者の人数を記載する。
(筆頭著者を除く。)

申請者自身の氏名を記載する。

この度、信州大学大学院総合医理工学研究科〇〇 〇〇氏の学位の申請にあたり、共著者が12名(筆頭著者を除く)に及ぶ理由を以下に述べます。

本研究の遂行に当たっては、複数の研究者がそれぞれの立場から研究に参画する必要があり、これらの研究者が発表論文の共著者となりました。

各研究者の役割は以下の通りです。

以下共著者全員について記載のこと。

共著者の氏名を記載すること。

〇〇 〇〇助教(信州大学医学部〇〇教室)には、実験計画の立案、実験の遂行、結果の解析から論文作成にわたる全過程において指導を依頼しました。

直線部分：
共著者の現在の身分
(助教や大学院生や医師や講師等)を記載すること。
()内は所属機関又は研究科名等を記載すること。

〇〇大学院学生(信州大学医学系研究科)は、動物モデル作成についての全
導を行いました。

〇〇 〇〇研究生(信州大学総合医理工学研究科)は、動物モデル作成についての
的指導を行いました。

〇〇 〇〇医師(日本赤十字病院)は、アポトーシスの解析についての指導を行
った。

〇〇 〇〇(信州大学医学部〇〇教室)は、研究指導から討論に至る全般にわたり
指導統括を行いました。

二重線部分：共著者の論文作成時
の役割を記載すること。

なお、共著者が多いですが、そのことが本論文の学位論文としての価値を損なうもの
ではありません。

提出版は下線不要

(元号) 年 月 日
信州大学医学部 教室
指導教員 氏名

印

学位論文審査申請票（甲）

ふりがな 申請者氏名					
学籍番号		所属教室	学		
1次審査予定日	(元号) 年 月 日				
単位修得状況	(係記入欄)				いずれかに○印
修了予定日又は 単位修得退学期日	(元号) 年 月 日		修了予定 単位修得退学	※早期修了予定者は、本来の（4年間に在籍した場合の）修了年月日を記入してください。	
学位論文題目 及び (日本語訳)	論文目録及び学位論文の要旨と統一すること。				
共著者名 (1コマに1名 ずつ記入)					
学位論文 掲載雑誌	論文目録と同内容を記入すること。				
	発行年月日	(元号) 年 月 日 (予定)			
	巻・掲載頁	第 巻 第 号 頁～ 頁	インパクト ファクター 【アクセプト年】		
審査委員 <small>(論文の共著者は 審査委員になる ことができない)</small> 《主指導教員 が決定》	主 査	○ ○ ○ ○ 教授			
	副 査 1	○ ○ ○ ○ 教授			
	副 査 2	○ ○ ○ ○ 教授 【主・副 指導教員】 いずれかに○印			
	副 査 3	○○大学○○学部 (所属先) ○ ○ ○ ○ 教授 (氏名, 職名) 【外部審査委員】			

* 提出書類の事前確認時に医学部大学院係あてメール添付で提出してください。
[送信先 : mdaigak@shinshu-u. ac. jp]